
日本BS放送株式会社

2016年8月期 第2四半期

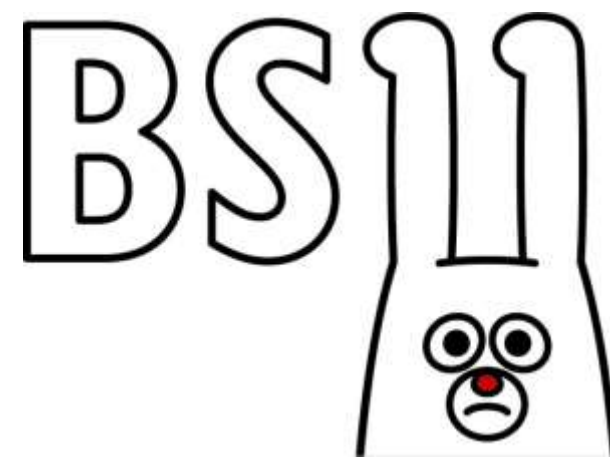
(決算補足説明資料)

2016年4月6日

BS11

(東1 コード9414)

I 決算概況



2016年8月期 第2四半期 総括

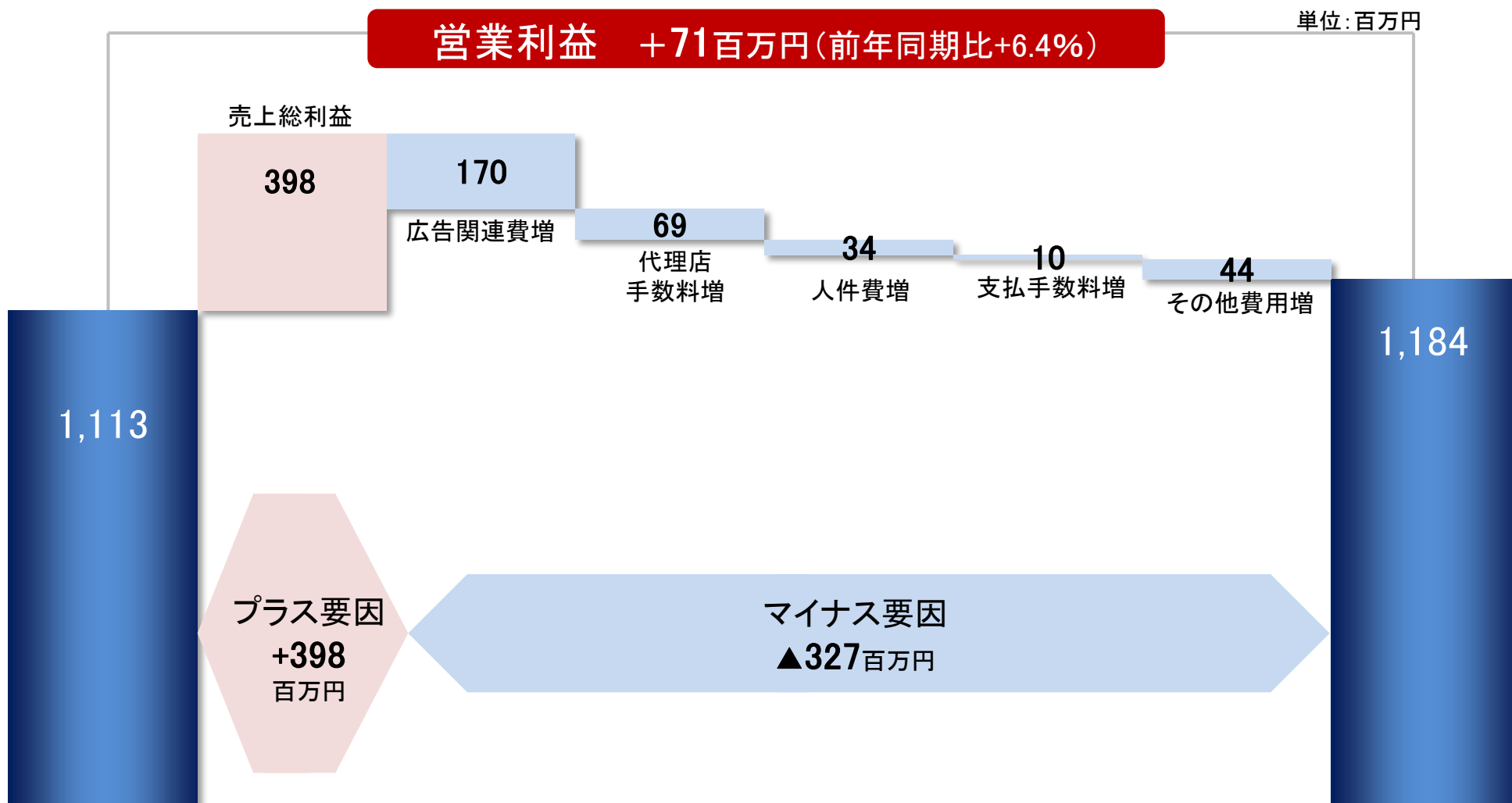
売上高 **4,898百万円** (前期比 12.5%増)

営業利益 **1,184百万円** (前期比 6.4%増)

- 売上、利益とも計画・前年を上回って推移
- 高品質な自社制作番組の放送による広告枠の付加価値向上
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効率的な広告宣伝の実施

(単位: 百万円、下段は構成比)

	2015年8月期 第2四半期 累計	2016年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画 (期初)	計画比 (期初)	増減額 (期初)	主な変動要因(計画比)
売上高	4,354 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	+544	4,850 (100.0%)	+1.0%	+48	(売上高) タイム収入(通販枠増加等)の 好調による増加
売上総利益	2,319 (53.3%)	2,717 (55.5%)	+17.2%	+398	— (—)	—	—	(段階利益) ・売上高増加及び売上原価・販管 費の効率的使用による利益増加
営業利益	1,113 (25.6%)	1,184 (24.2%)	+6.4%	+71	910 (18.8%)	+30.2%	+274	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価: ・番組関連費用は計画内での 効率的使用 ・その他原価項目の効率的使用
経常利益	1,096 (25.2%)	1,185 (24.2%)	+8.1%	+89	910 (18.8%)	+30.3%	+275	販売管理費: ・広告関連費用は計画内での 効率的使用 ・その他販管費の効率的使用
四半期純利益	708 (16.3%)	802 (16.4%)	+13.2%	+93	567 (11.7%)	+41.5%	+235	



2015年8月期
第2四半期累計

2016年8月期
第2四半期累計

(単位:百万円、下段は構成比)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	4,354 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	4,850 (100.0%)	+1.0%
タイム収入	3,055 (70.2%)	3,594 (73.4%)	+17.6%	3,467 (71.5%)	+3.7%
スポット収入	1,132 (26.0%)	1,218 (24.9%)	+7.6%	1,321 (27.2%)	▲7.8%
その他	166 (3.8%)	86 (1.7%)	▲48.3%	61 (1.3%)	+39.8%

主な増減要因(前年同期比)

■ タイム収入

- ・新規通販枠の獲得、既存通販枠単価が引き続き上昇したことによりタイム収入増加
- ・アニメ番組放送時間枠増加によるタイム収入増加

■ スポット収入

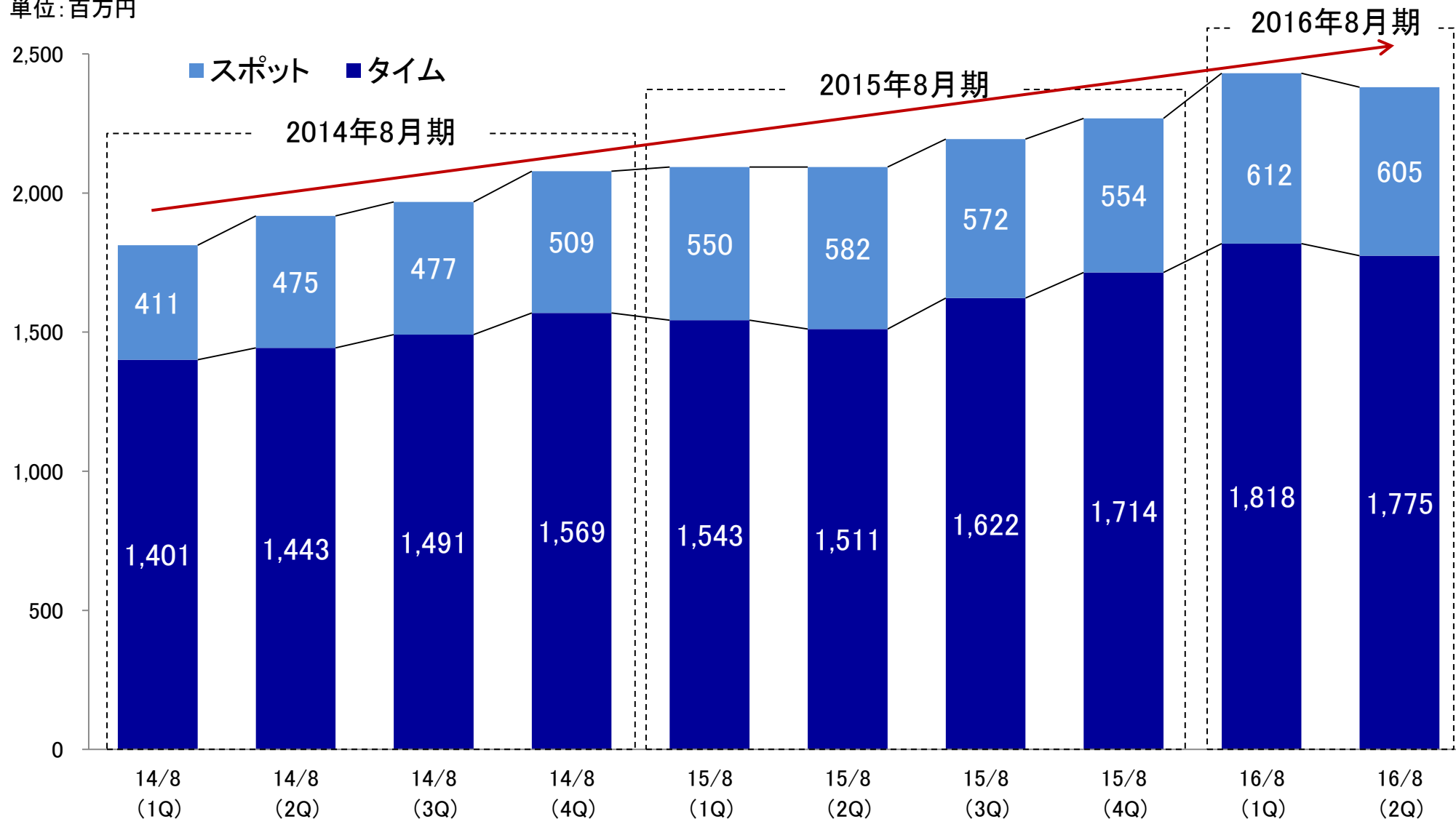
- ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が引き続き堅調に推移
- ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポットも順調に増加

■ その他

- ・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金収入

◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、引き続き増加トレンド

単位: 百万円



主要費用項目実績

(単位: 百万円、下段は売上比)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,240 (28.5%)	1,245 (25.4%)	+0.4%	
番組購入費	195 (4.5%)	185 (3.8%)	▲5.0%	新規通販枠の獲得に伴う購入番組の減少
番組制作費	1,045 (24.0%)	1,060 (21.6%)	+1.4%	放送番組内容の充実による増加
放送関連費用(原価)	313 (7.2%)	339 (6.9%)	+8.4%	
放送委託費	277 (6.4%)	277 (5.7%)	-	
技術費	35 (0.8%)	61 (1.2%)	+74.4%	放送関連施設充実のための施設移設費用増加
広告関連費用(販管費)	247 (5.7%)	418 (8.5%)	+69.1%	
広告宣伝費	222 (5.1%)	377 (7.7%)	+69.7%	番組視聴世帯数増加に向けた広告宣伝活動の強化による増加
販売促進費	25 (0.6%)	40 (0.8%)	+63.2%	機械式視聴世帯数調査開始による増加 (2015年4月開始)

貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書の概要

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

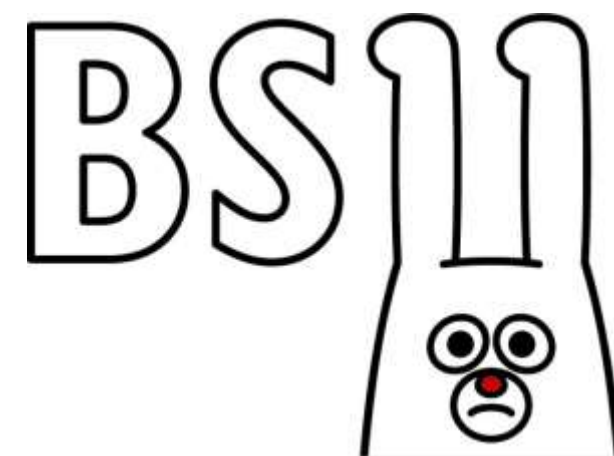
		2015年8月期末	2016年8月期	
			第2四半期末	増減額
流動資産		7,892 (52.8%)	7,741 (52.3%)	▲151
	固定資産	7,049 (47.2%)	7,065 (47.7%)	+16
資産合計		14,942 (100.0%)	14,807 (100.0%)	▲135
流動負債		1,782 (11.9%)	1,123 (7.6%)	▲659
	固定負債	72 (0.5%)	60 (0.4%)	▲11
負債合計		1,854 (12.4%)	1,184 (8.0%)	▲670
純資産合計		13,087 (87.6%)	13,622 (92.0%)	+535
負債・純資産合計		14,942 (100.0%)	14,807 (100.0%)	▲135

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年8月期 第2四半期累計	2016年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	858	705
税引前当期純利益	1,096	1,185
減価償却費	79	119
売上債権の増減額(▲は増加)	▲25	▲51
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲53	▲14
未払費用の増減額(▲は減少)	▲119	6
法人税等の支払額	▲83	▲481
投資キャッシュ・フロー	▲73	▲530
有形固定資産の取得による支出	▲67	▲537
財務キャッシュ・フロー	▲233	▲275
配当金の支払額	▲222	▲266
現金及び現金同等物の増減額	551	▲100
現金及び現金同等物の期首残高	4,794	6,131
現金及び現金同等物の期末残高	5,346	6,031

Ⅱ 通期計画



売上高は**10,200**百万円(前期比15.1%増)、営業利益は**2,000**百万円(前期比2.0%増)、
当期純利益は**1,350**百万円(前年比11.0%増)を計画

(単位:百万円、下段は構成比)

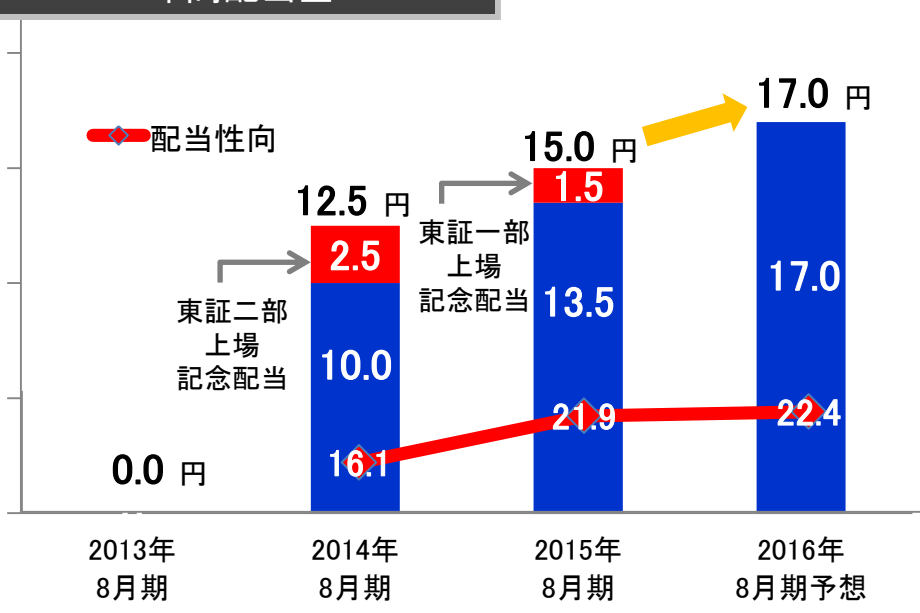
	2015年8月期		2016年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	4,354 (100.0%)	8,865 (100.0%)	4,898 (100.0%)	+12.5%	10,200 (100.0%)	+15.1%	+1,334
タイム収入	3,055 (70.2%)	6,392 (72.1%)	3,594 (73.4%)	+17.6%	7,581 (74.3%)	+18.6%	+1,188
スポット収入	1,132 (26.0%)	2,259 (25.5%)	1,218 (24.9%)	+7.6%	2,455 (24.1%)	+8.7%	+195
その他	166 (3.8%)	214 (2.4%)	86 (1.7%)	▲48.3%	164 (1.6%)	▲23.4%	▲50
営業利益	1,113 (25.6%)	1,960 (22.1%)	1,184 (24.2%)	+6.4%	2,000 (19.6%)	+2.0%	+39
経常利益	1,096 (25.2%)	1,912 (21.6%)	1,185 (24.2%)	+8.1%	2,000 (19.6%)	+4.6%	+87
当期純利益	708 (16.3%)	1,216 (13.7%)	802 (16.4%)	+13.2%	1,350 (13.2%)	+11.0%	+133

期末配当金を2円増配、17.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した利益配当を継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金



	2013年 8月期	2014年 8月期	2015年 8月期	2016年8月期 (予想)
年間配当	0 円	12.5 円	15.0 円	17.0 円
普通配当	0 円	10.0 円	13.5 円	17.0 円
記念配当	0 円	2.5 円	1.5 円	0 円
1株当たり 当期純利益	91.87円	77.67 円	68.34 円	75.83 円
配当性向	-	16.1%	21.9%	22.4%

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出。
 2. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。



2015年8月期末より株主優待制度を変更。長期保有株主優待制度を新設

変更後の株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度		 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

